

昨年となるの増員成果の結果は、174名の増員

一年次は211名 やや減るもののすばらしい成果! 努力に対し厚く御礼

★ 新会員は、男性 78名、 女性 130名 計208名

脱退者は 男性 12名 女性 22名 計 34名

死亡者は 男性 66名 女性 108名 計174名

★ 二年次獲得目標 $2713 \times 0.04 = 109$ 名

実 績 $208 - 34 = 174$ 名

目標達成クラブ数 23クラブ (43%)

増加クラブ数 38クラブ (70%)

増減なしのクラブ数 11クラブ (20%)

減少クラブ数 5クラブ (10%)

★27年度単位クラブ実績

①城南町クラブ	復活	44名
②下手良クラブ	復活	14名
③横山クラブ		12名
④坂下クラブ第一		8名
⑤西高遠クラブ		7名
⑥坂下クラブ第二		6名
⑦上荒井クラブ		6名
⑧野口クラブ		6名
⑨溝口クラブ		6名
⑩川北クラブ		6名
⑪上新田クラブ		5名
⑫貝沼クラブ		5名
⑬澤渡クラブ		5名
⑭境 クラブ		4名

⑮水上クラブ	4名
⑯坂下クラブ第三	3名
⑰赤木クラブ	3名
⑱芝平クラブ	3名
⑲非持山クラブ	3名

以下略

《総括》

- ☆ まだ県本部よりの総括はきていないが、一昨年は10%の連合体が目標を達成したが、昨年の二年次は皆目見当がつかない。推測だと一昨年よりはかなり成果が各連合体ともあがっているのではないかと思う。
- ☆ 伊那市の総括は、二年次も3桁の成果で誇ってもよいように思う。
一年次がよかったので、あまり単位クラブにけしかけてもいけないと思い、途中に一回激励の手紙を発送した。
それでも、長年の成果はあがってきているので、力を落とさずに各クラブでは奮闘努力してくれた。感謝です。
- ☆ 復活クラブは昨年途中で結成した城南町と下手良である。未開発の一クラブが60名立ち上がる予定であったが、中途の瓦解してしまった。復活クラブを成立させることは難しい。途中一クラブの解散も痛い。
市長の側面援助は、効果的であったようにおもう。
- ☆ 伊那市は、なんといっても脱退者を低く押さえているところに価値がある。
2700名の会員のかなで脱退者は、34名である。高齢の方々は、やはり仲間意識が強いので、朋友が脱退すると連鎖反応で脱退してしまう傾向にある。
ところが、伊那市はそういった傾向がないのがありがたい。幾分一定以上の高齢になった方々も準会員・会友として残っていただけるシステムは有り難い。
- ☆ 一次の目標の0.04倍の獲得と、二次の目標の単位クラブ5名以上の獲得も昨年並以上に努力してくれたことは有り難い。5名以上の獲得は、13クラブであり、5名に満たないクラブも漸増していただけた。
- ☆ あと3年間が増員期間である。長帳場であるので大変と思うが、できることなら市高連は、会員3000名の大台にのせたいのが、大きな夢である。
是非協力をお願いしたい。

団体戦は、18チームで競い、優勝は境A

第2位；澤渡A・三位；川北A/個人戦優勝；浅井芳字郎・二位；浅野八重子

★伊那市マレットゴルフ大会は、平成28年の6月2日（木）に羽広のマレットパークで行なわれた。当日は、朝から抜けるような晴天で、全国的にも高気圧の貼り出している天候であったが、北には低気圧があり、北海道は霜や雪の舞う天候であったという。

★8：00には受付開始であったが、すでに何人か受付をすませていた。いつもの常連のクラブチームと会場を分け合うが、今年は、私どもに譲っていただき午後のプレーとのことで、いつもの東屋は受付などに使用することができた。感謝。

8：30に開会式。はじめに「お早ようございます。素晴らしいマレット日和でうれしく思います。本日は、18チームと大勢の参加をいただき、個人戦も10余人の出場でにぎやかにできます。昨年は、この大会の優勝チームが県大会にでるということで、御園チームが参加して県でも優勝しました。今年も県大会をめざして頑張ってください。会場は長野市の河川公園で開かれます。」と会長挨拶。

保健福祉課長の松沢さんは、「お早ようございます。さわやかな天候のもと盛大にできますことうれしく思います。平成18年の合併より11年たちましたが、伊那市の高齢者の人口は2万400人で、高齢化率は29、6%です。クラブとしても魅力ある活動をすすめてほしい。その意味で、今日の参加は素晴らしい。今後も、積極的な活動をすすめていただきたい。」

伊那市社協の会長の伊藤さんは、「マレット大会の成功おめでとうございます。高齢者が楽しく明るく生きていくためには、なんといってもスポーツが最適です。本日は素晴らしい景品もあるようですので大いに頑張ってください。そして、各地域との交流も大いにすすめてほしい。クラブの発展の祈ります。」

競技上の注意として、体育委員の根津さんは、「本日は団体戦は天龍コースの72パーで行います。OB線を越えたらOBとします。停止線で判断してください。丸太を越えてもOB。今日はマークを使ってほしい。前のチームを妨害しないように」。

★雷の合図で、プレー開始。馴染みのコースらしく、みな一打でどこまでいくか、計算して打っていた。チームごと和気霽々で、プレーをすすめていた。

成績は、次の通り。団体戦：

- 優勝 ; 境A 237点 (唐沢 正尚・石井 国彦・石井 あけみ・伊藤 和子)
準優勝：澤渡A 252点 (平沢 功・渋川 洋一・塩沢 トシ江・平沢 祐子)
三位 ; 川北A 255点 (福沢 喜久雄・小島 文雄・北林 秋雄・後田 武)
四位 ; 伊那部 256点 (清水 安雄・小林 昌行・根津 昌行・小林 幸恵)
五位 ; 黒河内・溝口 267点 (下平 功・宮下 安人・中山 顕・宮下ヨシ徳)
六位 ; 白山東部 273点 (杉本 進・池上 紀春・内山 寿・林 米子)
七位 ; 非持 278点 (池上 善智・中山 信顕・中山 武長・春日 市子)
八位 ; 御園 279点 (茅原 辰夫・有賀 智世子・北原佐智子・原 清男)
九位 ; 坂下 286点 (唐木 利章・亀山 勝治・松下 千秋・網野 さだ子)
十位 ; 川北 287点 (山川 輝雄・中島 昇・小林 幸雄・吉瀬 茂生)
十一位 ; 小出島 288点 十五位 ; 日影 307点
十二位 ; 澤渡B 289点 十六位 ; 東高遠 312点
十三位 ; 白山西部 294点 十七位 ; 白山中部 316点
十四位 ; 西高遠 295点

★ ホールインワン 伊藤 洋一 (小出島) 北林 秋雄 (川北)

個人戦成績 優勝 ; 浅井 芳字郎 62 準優勝 ; 浅野 八重子 65
三位 : 古旗 功 71

後プレーした中で、長寿の男女2名に、長寿賞が贈られた。

★閉会式では、成績発表と賞品が贈られた。

最後の講評では、「あるプレーされた方が、『点数は問題ない。点数にはこだわらない。こうやってプレーして各ホールを歩いていると、何キロか歩くことになる。この歩くことがなにより気持ちがいいし、健康のためになる。さわやかな風を感じて木立の中を歩くことが、健康寿命のためになる』と返答してくれたが、その通りですね。皆さんもきっと願いは同じだとおもいます。健康で長生きするために益々屋外スポーツに頑張ってください。本日は大変ご苦勞様でした。

今日の運営をすすめた体育部のみなさん、有難うございました。

健康づくりの講演 (信州エースプロジェクト)

実技講習『千代紙細工』女性研修会楽しそう!

★平成28年度の女性指導者研修会は、7月13日(水)にあいにくの梅雨の雨の降る中でおこなわれた。会場は、諏訪と上伊那は、箕輪町の文化センターを借りて行なわれた。

参加者は、小澤女性部長・北原佐智子(御園)・加賀爪佐代子(小出島)・関多美子(東高遠)・指田志恵子(中尾)・杉本みよし(山寺)・前澤才子(春日町)・田畑 幸子(上牧)・御子柴書記のみなさん。

諏訪と上伊那の女性役員のみなさんが総勢70名集う。

★はじめに、会長挨拶で、「過日の県下四ブロックの役員会で、KJ法にそって、増員計画を発表しあったが、東信ブロックで女性部の在り方についてこのほど県本部でまとめられたので、参考の事例として紹介します。女性部の活動の広がりをも大きくするために、①集まりでは人の悪口をいわない、②お茶のみでは、日頃のうっぷんをはらしてもらうように、楽しいことを中心にはなす」などを紹介しました。

女性部代表挨拶では、伊那市高連の女性部長小澤さんの挨拶もありました。

★講演会に移って『みんなで取り組む健康づくり～信州ACE(エース)プロジェクト』講師は、県保健福祉事務所・伊那・管理栄養士・田中佳乃さんの話がありました。

①長野県は平均寿命が日本一。昭和40年には、男性9位・女性26位でした。

いろいろの努力で現在は、日本一。但し、現在健康であると自覚している人は男子が、全国10位。女子が、20位とのこと。

②、長野県の健康長寿の要因は、戦前は低い結核死亡と低い乳児死亡も間接要因。

これは、大正から昭和にかけて、主食や野菜の栽培。川肴などの動物タンパク質。味噌・醤油などの大豆食品。山羊の乳などの摂取が長野県では多かったため。

③、戦後は、野菜摂取量が長野県は特に多い。

- ④、他には、就業率が高い。喫煙率が低い。保健師が全国2位。
- ⑤、さらなる健康のために、3大死亡原因のガン・心疾患・脳卒中を減らすこと。
- ⑥、ACTION, CHECK・EAT のアクション・チェック・イートの体を動かすこと・検診を受けること・健康に食べることを大事にする。この頭文字のACEをエース。
- ⑦、アクションとして、毎日続ける速足と体操。
- ⑧、チェックとして、毎年歯科の検診と血圧の測定。
- ⑨、イートとして、減らそう塩分・増やそう野菜。
- ⑩、健康経営を推進します。
健康地域づくりを推進します。
健康教育を推進します。
エース県庁を推進します。

★午後は実技講習として、千代紙細工

名刺・カード入れづくりを制作。

小物入れもつくりあげる。

たいへん熱心にグループごと制作を行なったので、みな、いい作品が完成した。千代紙の柄というか模様が、市販されていないものを利用したので、素敵な作品で満足であったようだ。

近くのこどもがお使いにきたら、小物入れにちょっとお菓子などいれてやるときっと喜ばれると皆にこにこ顔で語ってくれた御子柴さん。

★最後に健康体操を全員で踊って解散した。

なお、恒例の活動事例発表は、箕輪町の当番として発表があった。

その中で65才以上の人口は、7000人であるが、高齢者クラブへの加入者は23%であり、伊那市に比べてかなり高率である。

我が伊那市は、クラブ加入者は13~14%であるので箕輪町を見習いたいものである。

「元気はつらつ大先輩事業」はかなり評判がよかったが、今年で終焉らしい。

平成28年度 市町村老連のブロック集会是KJ法から糸口をみつける

伊那市の増員計画の実践を今年も県下4ブロックに紹介

★飯田・伊那・諏訪三郡のブロック集会是6月23日（水）に飯田の合同庁舎で行なわれた。

★今年は、増強運動三年次ということで、従来と違う探り方を試みた。KJ法といって、今から40年ほど前に一世を風靡していた、京都大学の川喜田次郎教授とその教室でおこなわれていた方法で、未知の問題を解決す道として、文化人類學がとった方法である。あまり馴染みのない学理とおもわれていたが、伊那市の図書館で書籍を調べたら、同著作集が十何冊あるらしく、その内の「KJ法と未来學」という本を借りて、さわりをあたった。現代文明の公害問題や環境・精神・組織に応用されているらしく、知らないのは小生ばかりであった。

KJ法は、万人に開かれているらしく

- ①男女差がない、男女どちらの人も同じようにできる。
- ②10才以上の人なら、KJ法のまとめに十分参加できる。
- ③高齢者でも見込みがあり、七十才になっても柔軟に身につけられる。
- ④学歴には無関係である。普通の成人ならだれでも参加できる。
- ⑤どんな集団でもよく、アフリカの民族でも南米でもつかえる。
- ⑥異民族でもわかりあえる。

ということらしい。県下4ブロックでKJ法を採用したところ、各企業でも盛んにとりあげられ、企業の問題点・活路などさぐったという報告があった。

★ブロック集会ではまず、会長挨拶で、3年次の今年は一人でも多くの会員を獲得すべく、KJ法を学ぼうと呼び掛けた。

つぎに「100万人の会員増強運動の現状報告」として、昨年までの成果と県下会員の意識調査の結果の発表が、県老事務局長よりあり、続いて「伊那市の2年次の現

況について」報告をさせていただきました。

各会長にすでに配布したが

- ①未組織地区の復活クラブの立ち上げの現状
- ②増員2年次の成果
- ③初年度と二年次の比較・三年次の目標
- ④増員の秘策について
- ⑤運動の総括 の5項目について発表した。

★あと5分化会にわかれて、KJ法について各人のアイデアを発表し模造紙にまとめた。

5分化会は、(1)、後継者（役員）づくり

(2)、若手高齢者の勧誘

(3)、未組織地域への対応

(4)、女性部活動の広がり

(5)、魅力あるクラブづくり の5つの柱を立てた。

★その中で、伊那市の白鳥市長の新区長さんへの老人クラブ勧誘および加盟での呼びかけは、各市町村にとって、羨ましかったようだ。やはり、行政のクラブへのはたらきかけを痛感したようだ。また、伊那市も北原地区が一時休会に陥ったが、その他は比較的平穏であったのも、今後の参考になるようだ。

★当日の伊那市の出席者は、・日影の柴 征司さん ・東高遠の柿木 邦夫さん
・長谷の北原 幸彦さん ・西高遠の井口 公雄さん ・御園の小松 宏さん
・山寺の山岸 真さん ・荒井の古旗 功さん ・西町の根津 昌行さん
・手良の宮原 弘文さん ・上新田の小林 富雄さん ・ますみの清水 満さん
・澤渡の寺山 増市さん ・坂下の樋代 義男さん ・藤沢の秋山 靖樹さん
・非持の池上 善智さん ・小沢の小坂 美恵子さん の方々でした。

★あといきいきクラブ体操を全員行なったあと、最後のまとめとなった。

今年は、3年次ということで、有言実行で、あと二年後の終わりとなる成果について、何とか形となる希望的観測の結果である夢をみたいものだ。

平成28年度、伊那市の100歳になられた会員の方々は次の6名であります。

- ★佐藤 よし江さん (御園友愛会)
- ★伊東 家子さん (上荒井友愛クラブ)
- ★星野 尊子さん (ますみが丘シニアクラブ)
- ★向山 弘さん (手良・下手良 高齢者クラブ)
- ★伊藤 才ゑさん (非持山高齢者クラブ)
- ★中村 美枝子さん (山寺白山クラブ西部)

6名の内、男性1名・女性5名とのことであります。今年の百歳賀寿祝贈呈者の対象者は、大正05年04月01日から大正お6年お3月31日までに生まれた方で、現在クラブに在席在籍のかたがたです。

ここ年毎に表彰者は増加し、数年前は1名であった表彰者が、今年は6名にまで増えたことは、大変喜ばしいことです。おめでとうございます。

◆ 県老連大会で、柿木邦夫さんが県知事賞を授与

—— 100万人増員運動特別賞では、西高遠高齢者クラブ(井口公雄さん)に ——

★第57回長野県老人クラブ大会は、10月21日(金)に松本市松本分文化会館で開かれます。その席上で伊那市関係の受賞者は、次の通りです。

- ◆県知事賞 柿木 邦夫 (東高遠仲良し会)
- ◆育成功労者表彰 北原 幸彦 (非持山高齢者クラブ)
- 同 埋橋 一 (貝沼明笑会)
- ◆育成協力者表彰 福澤 靖子 (山寺白山クラブ)
- 同 廻 佳子 (同)
- ◆優良クラブ表彰 金井長生会 (会長：丸山勝己)
- 同 貝沼明笑会 (会長：埋橋 一)

◆育成功労者表彰 北原 幸洋 (澤渡高齢者クラブ)

◆100万人会員増強運動特別賞

西高遠高齢者クラブ (会長：井口公雄)

◆5名以上会員を増加させたクラブ (この項は、市の大会で委託授与)

▲坂下高齢者クラブ第一 (代表：松下 千秋)

▲坂下高齢者クラブ第二 (代表：樋代 義男)

▲上荒井町友愛クラブ (代表：伊藤 紀人)

▲川北町高齢者クラブ (代表：古旗 功)

▲上新田高齢者クラブ (代表：小林 富雄)

▲貝沼明笑会 (代表：埋橋 一)

▲野口高齢者クラブ (代表：片桐 辰雄)

▲澤渡高齢者クラブ (代表：寺山 増市)

▲横山鳩吹会 (代表：武田 東洋夫)

▲西高遠高齢者クラブ (代表：井口 公雄)

▲溝口高齢者クラブ (代表：渋谷 市郎)

◆復活させたクラブ (この項も市のクラブ大会で委託表彰)

▲城南町ふれあいの会 (代表：清水 久巳)

連絡事項

☆熊本の地震災害に対するカンパ活動は、中間発表として7月末日に集計して第3回の理事会で発表し、県本部に送金します。

会員1人に100円以上とのことですが、中間発表ではまだ各クラブの集計がそろっておりません。テレビや報道をみるかぎりでは、ほぼ全壊の家屋が多く、庭にテントを張っての生活も続いているようです。

連日の梅雨で、災害地の熊本は特に多量の雨がふりました。

1人100円では、ガラス一枚購入できませんが、大勢の結束は大きな力になると思います。最終の10月には第2次分として送金したいものです。